VRモード・CPRM対応

7インチ液晶搭載 ポータブル DVDプレーヤー

（ブラック）（マゼンタ）（ホワイト）

製品型番：DS-PP70EC307BK／MG／WH　取扱説明書

各種操作にあたり、特にご注意頂きたい項目を以下にまとめます。

電源を入れる前に… ▶P12 ▶P14	**ピックアップ保護カバーを取り外します。** ディスクトレイを開いた中央部にピックアップ保護用カバーが取り付けてあります。取り付けたままで電源を入れると機器の破損につながります。記載のページをご覧頂き電源を入れる前に必ず取り外してください。 **電源起動に関する注意** 主電源スイッチが本体側面に設けられています。こちらが OFF になっていると全ての操作はうけつけません。
バッテリーを使う前に… ▶P15	**ご使用前に充電が必要です。充電時はACアダプタを使用してください。** お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく少なくなっている時は電源アダプタをつないでも途中で電源が落ちてしまったり、動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。バッテリーは用法を誤ると危険です。本書の内容を充分ご理解頂いた上でご使用ください。
テレビを見る前に… ▶P18	**テレビの視聴前にオートサーチが必要です。** 「オートサーチ」はお使いの地域で受信可能な放送局を読み込み、登録する作業です。この操作を行なわないとテレビ放送を受信することはできません。 **チャンネル切り替えに関する注意** チャンネルの切り替えはチャンネルボタンで行ないます。数字ボタンを使ったチャンネル番号指定はできませんのでご注意ください。
各種メディアを再生する前に… ▶P26	**市販のディスク以外の、レコーダーやPCで作成したデータの再生について** ご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため本書に記載された対応可能形式であっても再生できない場合もあります。デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。
AV出力機能	**ワンセグ放送は外部に出力できません** 本機には複数の機能モードがあり（DVD／ TV／ AV 入力）、操作に合わせて機能切替を行ないます。このうち、外部出力が可能なのは DVD 機能モードで再生させているものに限定されます。
停止操作	プレーヤー本体に停止ボタンはありません。停止操作はリモコンで行なってください。

目次

はじめに

この度は本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本書と保証書をよくお読み頂いた上で、用法を守って正しくお使いください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもあります。予めご了承ください。

● DVD プレーヤー本体	● AC アダプタ	●車載用 DC アダプタ（12V 車専用）
●リモコン	● AV ケーブル	●アンテナ 2 種とアンテナ変換ケーブル
●イヤホン	●保証書	●取扱説明書／クイックガイド

使用上の注意

●本製品の AC アダプタの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください（AC100–240V）。
●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また､濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプタをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
● USB 端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置など）を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USB からの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
●小さなお子様が電気製品を使用する場合には本製品の取扱を理解した大人の監視、指導

のもとで行うようにしてください。

●コネクタに付属の専用ケーブル以外の異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火の恐れがあります。

●この製品は、クラス１レーザー製品です。レーザーデバイスを装備しているため用法を誤ると人を傷つけたり､機器を損傷したりします。決してレーザー光をのぞいたり､レーザー光に触れたりしないでください。

●本書の説明と明らかに異なる操作や目的で使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となります、絶対におやめください。この場合、弊社は一切の責任を負えません。

電源供給に関する注意

●電圧が使用する電源の電圧と合っているかを確認してください。AC100V、車載用アダプタはDC12V専用です、24V車（例、輸入車や大型車等）では使用できません。

●電源アダプタは十分注意して配線してください｡特に電源ケーブルを束ねて使用すると、アダプタや本体に負荷がかかり破損するおそれがあります。

●配線が切れかかった電源コードは使用しないでください。また、電源プラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。ショートによる火災の原因になります。

内蔵バッテリーについて

●お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で電源が落ちてしまったり､動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。

●バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。

●充電もしくは使用中にプレーヤー本体やバッテリーが異常に熱を持ったり､異臭や発煙、膨張した場合は直ちに使用を中断し、弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

●電源コンセントに差しっ放しにする等の過充電を行うと、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合がありますのでご注意ください。バッテリーは消耗品です。使用を重ねることで再生可能な時間は徐々に短くなる傾向にあります。

●自動車のシガーソケットからの充電はしないでください。自動車電源は電圧供給が不安定なため、つないだまま長時間使用するとバッテリーに負担をかけます。バッテリーの電池残量が多い時や充電完了の合図の後はシガーソケットから外してお使いください。

●保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所や、湿度の高い場所での使用・放置をしないでください。保管に際してはプレーヤーから電源アダプタを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。

●バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

移動中や、お車でのご使用について

●移動・運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。本体及びアンテナは運転に支障が出ない位置に設置してください。車種によっては取り付けができません。
●誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。車載用アダプタをご使用の際は本製品とお車との電圧・電力・極性が合っていることをご確認ください。付属のDC アダプタは 12V 車専用です。24V 車（例、輸入車や大型車等）では使用できません。
●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、DVD プレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また、電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
●自動車からの電源供給によるバッテリーの充電は、電圧が不安定なこともありバッテリーに著しく負担をかけます。自動車シガーソケットから電源供給を行なう場合は、バッテリーが満タンになったらシガーソケットから外してお使いください。
●真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障や事故の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。
●移動や引っ越し等により初期設定でオートサーチをした地域の外に出ると、それまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。視聴地域が変わったら、もう一度オートサーチをやり直してください。
●大きな建物のそばや山陰、トンネル内等では、電波の受信状況が悪くテレビが映らなくなることがあります。その場合は、電波の受信状況が良い場所に移動してください。

DVD や CD 及び各種メディア再生について

●光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
●ディスクトレイには DVD、CD 以外の異物を挿入しないでください。また、USB スロットと MMC スロットに異物を挿入しないでください。
●ディスクをセットする時は 1 枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のコネクタにカチッと音がするまで差し込んでください。
● CD-R/RW、DVD-R/RW 及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーや PC 等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものがあります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みがもたついたり、認識できない場合があります。
●デジタル放送を録画した VR モード・CPRM のディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

ディスクの取り扱いについて

●ディスクを持つ時は、記録部分には触れず、ディスクの端を挟んでお取り扱いください。
　指紋、ホコリ、傷等は、ディスクの読み飛ばしやゆがみの原因となります。
●ディスクのラベル面にボールペン等で書き込まないでください。
●ディスクを曲げたり落としたりしないでください。
●お手入れをする時は軽く水で湿らせた布を用い、内周から外周に向かって拭いてください。

リージョンコード

　DVD ソフトおよびプレーヤーには、市場シェアを守る目的からリージョンコードという規格が設定されております。DVD のコンテンツを表示させるためには、DVD のリージョンコードと、DVD プレーヤーのリージョンコードが同じでなければなりません。

※本製品のリージョンコードは２です。２以外のリージョンコードが設定されている
　DVD ソフトは再生できません。

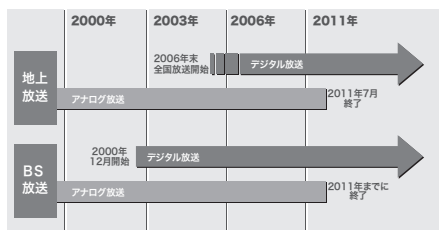
リージョン１	アメリカ・カナダ
リージョン２	日本・欧州・中東・南アフリカ・エジプト
リージョン３	東アジア・東南アジア・香港
リージョン４	オーストラリア・中米・カリブ諸国・南米
リージョン５	ロシア・北朝鮮・モンゴル・南アジア・アフリカ諸国
リージョン６	中国

テレビ使用時の注意

[オートサーチ（チャンネルの読み込み）について]
…ご購入後、はじめてテレビをお使いになる場合は「オートサーチ」をしてください。
　オートサーチは使用する地域で受信可能な放送局を読み込ませる操作で、テレビを
　視聴するために必ず行なう設定です。
…オートサーチは初めて使用する時以外にも移動や引っ越し等で視聴地域が変更した場合
　や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。

●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送（ワンセグ）を受信するためのものです。海外ではご使用になれません。また国内であっても地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は2006年12月には全国都道府県庁所在地で放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは限定されていますが、順次拡大しています。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが決定しています。

ワンセグ放送について

ワンセグとは日本国内で主に携帯電話等の移動体端末やその他機器を対象とする地上デジタル放送です。従来のアナログ放送と比較して移動中でも安定して受信できる工夫がなされています。

ワンセグは地上デジタル放送の6メガヘルツの帯域を13セグメントに分けて送信する日本独自の規格によって実現したサービスで、13のセグメントの真ん中の1セグメントを使用して映像、音声データが得られます。

ワンセグの番組内容は基本的に従来のテレビ番組と同じ内容です（チャンネル番号はアナログ放送とは異なります）。その為、普段見慣れた番組を外出先で楽しむことが可能です。

本製品は、双方向データ通信等には対応しておりません。

ワンセグ視聴中に起こる、以下のような症状は故障ではありません

■ワンセグ放送を含む地上デジタル放送は、実際の時刻とのタイムラグが発生します

正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

■移動中の視聴は、電波状況が刻々と変化しています

電波が弱い場所に入ると急に音声・映像の乱れ、画像の静止、黒い画面になることがあります。アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できる、というような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。

■移動中の視聴では、放送エリアが変わります

地上デジタル放送の電波は、地域によってチャンネル割り当てが異なります。その為、放送エリアが変わると急に視聴ができなくなることがあります（例　車で移動中に県をまたいでしばらくしたら、今まで視聴できていたチャンネルが急に映らなくなった等）。放送エリアが変わった場合は、再度「オートサーチ」を行ってください。

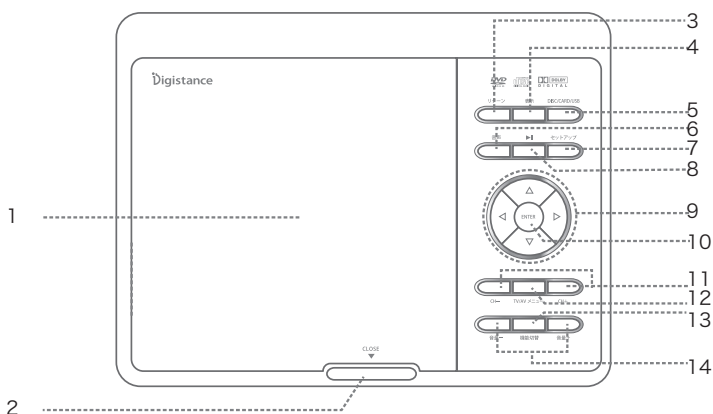
本書中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標です

● DVD マークは DVD-Video の統一マークです。
● disc マークは、ビデオ CD、オーディオ CD の統一マークです。
●ドルビー、ドルビーデジタル、Dolby、およびダブル D 記号 DD は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

予めご了承いただきたいこと

1. 本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
2. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、当社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断での使用はできません。
4. 万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障・損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、予めご了承ください。
5. 接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
6. 地震や雷等の自然災害・火災・第三者からの行為・その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
7. 故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
8. 保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、当社では一切の責任を負えませんので、予めご了承ください。
9. 本製品は、一般家庭内でのご使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動での使用等）として、もしくは個人でも極端に長時間連続で使用を続けた場合には保証の対象外となります。また、日本国内での使用を前提として製造されていますので、海外でのご使用やそれに対する保証やサポート対応はできません。

1 本体・リモコン各部機能

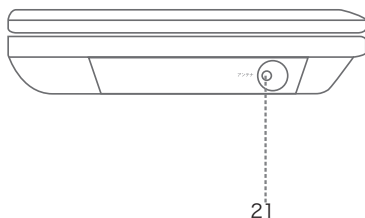
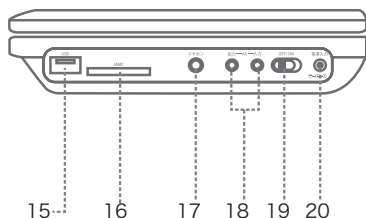
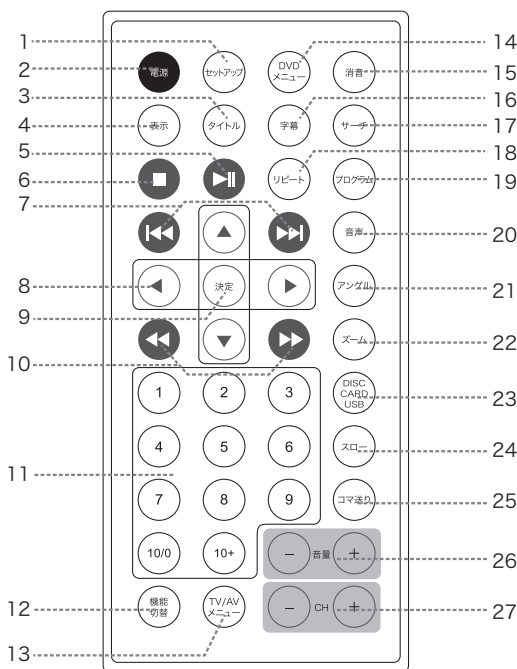
本体前面

[ピックアップカバー]

ご購入頂いた時点では、ディスクトレイ内にピックアップ保護用のカバーが装着されています。電源をONにする前に取り外してください。

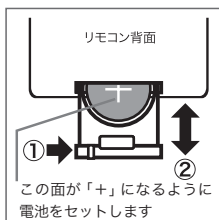
[ディスプレイ部の回転機構]

各部機能の紹介

No.	名称	機能
1	ディスクトレイ	DVD、CD を挿入します。ご購入頂いた時点では、ピックアップユニット部分（ディスクのデータを読み取る機械）に保護用のカバーが装着されています。ご使用前に必ず取り外してください。また、蓋を閉じる時は「CLOSE」と書かれた部分に手をあててください。
2	ディスクトレイオープン	DVD、CD を挿入するディスクトレイの蓋を開きます。
3	リターン	前の画面に戻ります。
4	表示	再生中のディスクの経過時間等の情報を表示します。
5	DISC/CARD/USB	読み込みメディア選択画面を表示させます。
6	音声	DVD の再生中に音声言語を切り替えます。
7	DVD セットアップ	DVD モードの時に DVD セットアップ画面を表示します。
8	再生／一時停止	メディアを再生します。再生中にボタンを押すと一時停止し、もう一度押すと再開します。
9	方向	メニュー画面等で項目を選択するときに使います。また、再生中に長押しすると次の機能ボタンとして動作します。上下：早送り・早戻し／左右：頭出し。
10	ENTER（決定）	メニュー画面等で選択項目を決定するときに使います。
11	チャンネル +/-	TV 視聴時にチャンネルを切り替えます。
12	TV/AV メニュー	TV/AV メニュー画面を表示します。
13	機能切替	DVD ／ TV ／ AV モードの機能モードを切り替えます。
14	音量	音量を調節します。
15	USB	USB メモリを挿入します。
16	MMC スロット	MMC を挿入します。
17	イヤホン出力	イヤホンを接続します。
18	AV 入／出力	外部機器との映像・音声入出力を担います。
19	主電源スイッチ	本体主電源の ON/OFF を切り替えます。視聴時には ON、未使用時とバッテリー充電時は必ず OFF にしてください。
20	電源入力	電源アダプタを接続します。
21	アンテナ入力	テレビアンテナを接続します。

本体側面

リモコン／各部名称と機能

[数字ボタンに関する注意]:

テレビの視聴中、数字ボタンでチャンネルを切り替えることはできません。
チャンネル切り替えは、チャンネルボタンで行なってください。

リモコン用電池の装着、交換

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。

②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。

③電池を交換します。セットするボタン電池は「＋」と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

No.	名称	使用可能な機能モード	機能
1	セットアップ	DVD	各種設定を行なうセットアップ画面を表示します。
2	電源	共通	電源のオン／オフを切り替えます。主電源スイッチが OFF になっていると機能しません。
3	タイトル	DVD	DVD のタイトルメニューを表示します。
4	表示	DVD	DVD の再生中に再生内容や時間経過などの情報を表示します。
5	再生／一時停止	DVD	再生を行います。再生中に押すと一時停止し、もう一度押すと一時停止を解除します。
6	停止	DVD	再生を停止します。１度押した場合は再生位置を記憶して停止します。次回再生ボタンを押すと停止させた場面から再開します。２度押すと再生位置の記憶は消去され、次回再生ボタンを押した場合は一番初めから読み込みます。
7	スキップ	DVD	DVD（CD）を再生中、前もしくは後のチャプター（トラック）を頭出しします。
8	方向	共通	各種設定画面内で、項目の選択を切り替えるときに使用します。
9	決定	共通	各種設定画面内で、選択項目の決定に使用します。
10	早送り／巻戻し	DVD	再生中に、早送りもしくは巻戻しを行ないます。ボタンを続けて押すと、早送り／巻戻しの速度が切り替わります。
11	数字	DVD / TV	【数字ボタンとしての動き】: DVD 再生中 ・０～９：数字を使った選択項目の入力に使用します。通常再生中に数字入力すると、指定したチャプターにジャンプします。 ・＋ 10：10 以上の番号を入力するときに使用します。990 まで入力できます。例：31 と指定したい場合は、+10 ボタンを３回押した後に１ボタンを押します。 【機能ボタンとしての動き】：テレビ視聴中は機能ボタンとして動作します。数字ボタンによるチャンネル番号指定はできません。
12	機能切替	共通	ボタンを押す毎に［DVD ／ TV ／ AV］の機能モードが切り替わります。
13	TV/AV メニュー	TV	テレビ視聴中に、各種設定を行なうメニュー画面を表示させます。
14	DVD メニュー	DVD	ディスクメニューを表示します。
15	消音	共通	ボタンを一度押すと一時的に音声出力を消します。もう一度ボタンを押すと消音状態は解除されます。
16	字幕	DVD / TV	字幕の種類を切り替えます。対応していない DVD ソフトや番組では無効です。
17	サーチ	DVD	DVD 再生中に指定の［タイトル／チャプター／時間］にジャンプできます。
18	リピート	DVD	繰り返し再生を行ないます。チャプター／タイトル／全体の繰り返し再生を行います。
19	プログラム	DVD	任意の再生順序を指定し、再生プログラムを作成します。
20	音声	DVD / TV	DVD 再生中及び TV の音声多重放送の視聴中に音声の種類を切り替えます。DVD ソフトや番組によっては、このボタンによる操作が無効になる場合があります。
21	アングル	DVD	複数のアングルが収録された DVD の再生中に、映像アングルを切り替えます。対応していな DVD では無効です。
22	ズーム	DVD	DVD 再生中、画面の一部分を拡大表示します。押す毎に倍率が切り替わります。
23	DISC/CARD/USB	DVD	DVD 再生モードの時に押すと、DISC/CARD/USB の読み込みモードを切り替えます。
24	スロー	DVD	DVD の再生速度を遅くします。ボタンを押す毎に、再生速度が切り替ります。
25	コマ送り	DVD	コマ送り再生をします。一度ボタンを押すと、一時停止します。その状態から続けてボタンを押すと、コマ送りで再生されます。
26	音量	共通	音量を調節します。
27	チャンネル	TV	テレビ視聴時にチャンネルを切り替えます。

＊ DVD やテレビ番組によっては上記の通りに機能しない場合があります。

[注意]：リモコン電池について

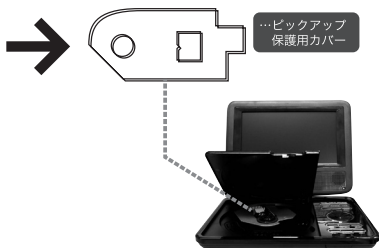
※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。

※初めてリモコンを使用する場合は電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。

※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。

2 アンテナ・電源 その他の接続

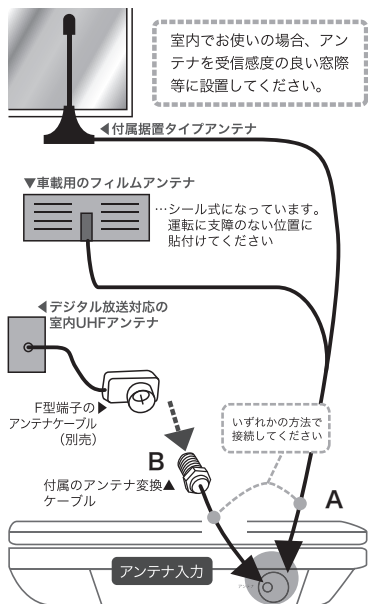
保護カバーの取り外し

出荷時の状態では、ディスクトレイ内に保護カバーが着いています。そのまま電源を入れると機器の破損や故障につながります。電源投入前に必ず取り外してください。

①アンテナとの接続

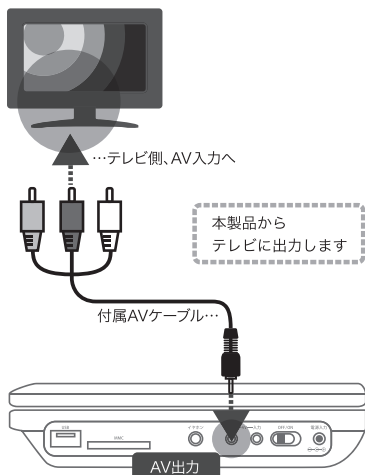
…次のいずれかの方法でアンテナを接続してください。

[図中 A、据置・フィルムアンテナ]：アンテナを本体のアンテナ入力に接続します。

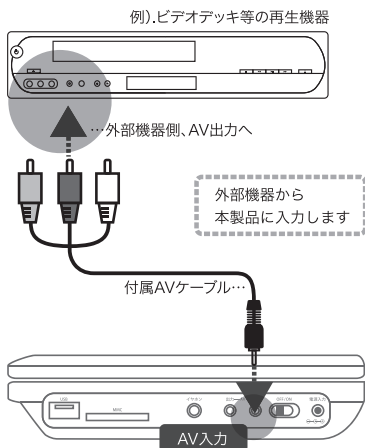
[図中 B、変換コネクタ]：デジタル放送に対応した UHF アンテナを接続する時は、付属の F 型アンテナ変換ケーブルを介して本体アンテナ入力と接続します。

※付属アンテナは、窓際等の受信感度の良い場所に設置してください。
※車載用アンテナは運転の妨げにならない場所に貼付けてください。フロントガラスに貼ると車検・安全基準を満たせなくなりますのでリヤ・サイドウインドウの熱線を避けて取り付けてください。
※図中室内 UHF アンテナと接続している F 型端子アンテナケーブルは別売りです。

[注意]：各種接続を終えた後「オートサーチ（受信チャンネル読み込み）→ P18」をしてください。オートサーチを行わないと、テレビ放送を受信することはできません。

②外部機器との接続

本製品を、その他機器と接続してお使いになる場合の接続です。本製品を単体でお使いになる場合は、ここで紹介する接続の必要はありません。

出力する

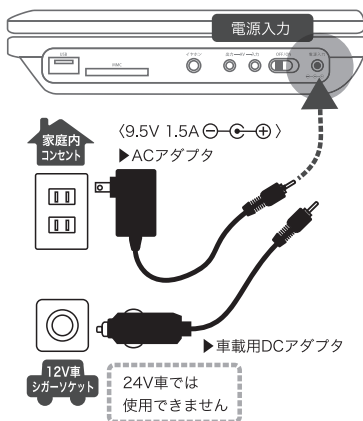
本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。大画面で DVD を観賞したいとき等に便利な機能です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 出力」とテレビ側の対応する入力端子を接続します。

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ1等)に切り替える必要があります。
※ DVD 機能モードで再生しているものに限り外部への出力が可能です。本製品で受信したワンセグテレビの映像は外部に出力することはできません。
※プレーヤー本体と外部出力時の音量は連動します。

入力する

ビデオデッキ等を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品搭載の液晶モニタに映し出す場合の接続です。
付属の AV ケーブルを使って、本製品側面の「AV 入力」と接続機器の対応する出力端子を接続します。

※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AV モード」に切り替える必要があります。
詳細は P25 をご覧ください。

③電源の接続 ～ 電源アダプタからの電源供給

電源接続を紹介します。バッテリーからの電源供給によるプレーヤーの使用については次ページをご覧ください。

本体側面の電源入力に付属の AC、もしくは DC アダプタを接続してコンセントもしくはシガーソケットに接続します。

[重要 !!]

…電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずプレーヤー本体から電源アダプタを取り外してください。次の④で記してある通り、内蔵バッテリーに過剰な充電が行われ大変危険です。ご使用前に④のバッテリーに関する記載も併せてご確認ください。

ディスクトレイ内のピックアップカバーを取り外して全ての接続が完了した後、本体側面の主電源スイッチをオンにしてください。

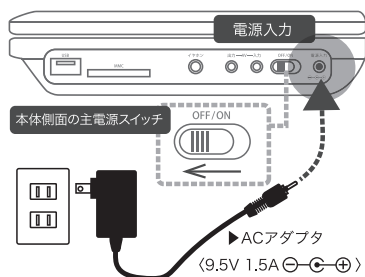
[起動できない？]：
お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で電源が落ちてしまったり、動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電完了後にご使用ください。

[車でお使いになる場合は、特にご注意ください]：誤った電源を使用しますと故障やショートの原因となります。車載でご使用の際はお車との電圧・電力・極性が合っていることをご確認ください。付属の DC アダプタは 12V 車専用です。24V 車（例、輸入車や大型車等）ではお使いになれません。エンジン始動時はシガーソケットからの電源供給が不安定です。車載で使用する場合は DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動すると、DVD プレーヤー本体に無理な負荷をかけ、故障の原因となる場合があります。機器の接続はエンジンがかかった状態で行なってください。また、バッテリーの電池残量が多い時や充電完了の合図が出た後はシガーソケットから取り外してください。

④バッテリーの充電と再生

バッテリーは用法を誤ると、故障や事故につながり大変危険です。ここで紹介する充電・再生方法をご覧頂き、充分にご理解頂いた上で用法を守って正しくお使いください。

バッテリーの充電

ご購入頂いた時点では、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使った電源供給を行なう場合はご使用になる前に、ここで紹介する手順で充電をしてください。

手順１　～電源との接続

充電は必ず本体側面の電源スイッチをOFFにした状態で家庭用コンセントから付属ACアダプタを用いて行なってください。本体側面の電源入力とコンセントを、付属のACアダプタを使って接続します。

注意：DCアダプタ、及び自動車の電源を用いた充電はしないでください。

充電所要時間：約130分

手順２　～充電開始と終了の合図

電源接続後しばらくすると本体側面の電源ランプが赤に点灯して充電が始まります。充電が終了するとランプが消灯します。
充電が完了したら、コンセントとの接続を解除してください。
充電にかかる時間は、使用状況や電池残量によって異なります。赤いランプが消灯したら電源アダプタを取り外してください。

注意：充電終了後、コンセントにつないだままにしておくと過度な電源供給が行われ、大変危険です。赤いランプが消灯して充電が終了したら、速やかに電源アダプタの接続を解除してください。

バッテリーの使用方法、次ページへ続く →

バッテリーを使った再生

バッテリーを充電してバッテリーからの電源供給で駆動させる場合は、必ず AC・DC アダプタ等、電源の接続を解除してお使いください。

充電完了後、電源アダプタを接続したまま使用するとバッテリーに過度な電源供給が行なわれ、著しく負荷がかかります。
このような使い方はバッテリーの寿命を縮めるほか、故障や事故の原因となり大変危険です。
充電完了のサインが出た後は、必ず電源アダプタの接続を解除してください。

連続使用可能な時間：
DVD 視聴時…約 105 分
ＴＶ 視聴時…約 180 分

[バッテリーの充電・再生時間についての注意]：
…上記の時間は使用状況や環境によって異なりますので、あくまでも目安とお考えください。また、バッテリーは消耗品です。使用を重ねることで劣化し、再生可能な時間は徐々に短くなります。

バッテリー使用時の注意

●お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリーの電池残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で電源が落ちてしまったり、動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。

●バッテリーの充電は、電池残量がなくなった後に行ってください。

●充電・使用中に内蔵バッテリーを含む本体が異常に熱を持ったり、異臭や煙などを発したり膨張した場合は直ちに使用を中断して弊社までご連絡ください。尚、上記のような症状が見られた場合は、以後絶対に使用しないでください。

●過度な充電を行うとバッテリーの故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早める場合があります。充電完了後や未使用時は、必ず電源アダプタを取り外してください。

●バッテリーは消耗品です。使用を繰り返すと再生可能な時間は徐々に短くなります。

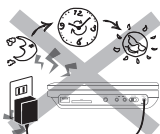
●保管場所にご注意ください。直射日光の当たる場所や、炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面などの高温になる場所や、湿度の高い場所での使用・放置をしないでください。保管に際してはプレーヤー本体から電源アダプタを取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。

●バッテリーを含む本製品の廃棄はお住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

●自動車の電源は非常に不安定です。電池残量が多い時や充電完了後はシガーソケットから取り外してお使いください。

[誤った使い方の事例]：

…用法を誤るとバッテリーの発熱・破裂等を生じ、故障や事故につながる可能性もあり大変危険です。こちらに示すような使い方は、絶対にしないでください。

充電完了後、電源アダプタを差したまま使用すると過度な電源供給が行なわれ、大変危険です。

バッテリーの過度な充電は危険です。コンセントに差しっ放しで外出したりしないでください。

充電完了後や電池残量が多いときは、シガーソケットの接続は解除してください。

バッテリーを含むプレーヤー本体を過酷な環境に置き去りにしないでください。

3 テレビを見る オートサーチ

オートサーチは初めて使用する時に必ず行う操作です。オートサーチを行わないとテレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもオートサーチをやり直してください。

…操作を始めるにあたり、前章までに記載してある次の項目について再度ご確認ください。

[ディスクトレイ内、ピックアップ保護カバーの取り外し／リモコン電池のセット／電源やアンテナ、及びその他の機器接続、内蔵バッテリー]

■テレビを使用する前に…オートサーチ

①電源を入れる

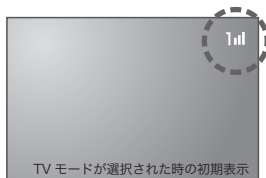
…本体側面の「主電源スイッチ」を ON にして電源を入れます。起動すると、画面上に「Digistance」のロゴが表示されます。

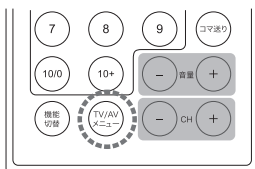
起動画面

【注意】：主電源を ON にしても起動できない時は接続やバッテリー充電についてご確認ください。

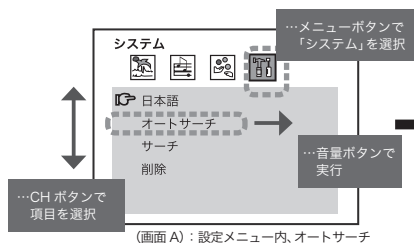
② TV モードに切り替える

…リモコンの「機能切替ボタン」を押して、機能モードを「TV」に切り替えてください。

TV モードが選択された時の初期表示

③オートサーチをする

手順１ …TV モードに切り替えた後、リモコンの「TV/AV メニューボタン」を４回押すと「システム」メニュー画面が表示されます（手順２の図 A）。

手順２ …オートサーチをリモコンのCH（チャンネル）ボタンで選択した後、音量ボタンを押すとオートサーチが実行されます（図 B）。

（画面 A）：設定メニュー内、オートサーチ

…下図はオートサーチ中の画面です。読み込んだチャンネル番号が順に表示されます。チャンネル読み込みには多少時間がかかります。終了までしばらくお待ちください。

（画面 B）：オートサーチ中の画面表示。

●ワンセグ放送の受信について

現在、全国の主要な地域ではデジタル放送が開始されていますが、地域の状況により放送エリア内であっても受信できない場合があります。受信障害の主な原因として、次のことが考えられます。[お使いの地域の周辺に高層ビルや山等があり、放送局からの電波を遮断している／住宅密集地域や集合住宅で電波状況が芳しくない／高圧送電線による電波障害の影響がでている／電波中継局の設置などのインフラ整備が整っていない]

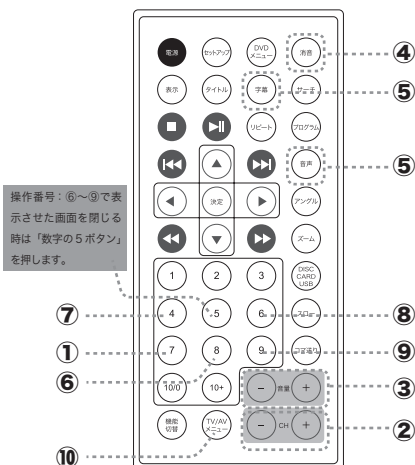
また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。特に携帯電話は、屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、チューナーにブースターを搭載するなど設計・受信方式が根本的に違います。携帯電話でワンセグ放送が受信できても、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

●ワンセグ放送受信エリアに関する、インターネット上の参考 URL

・社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
　http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/
・総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
　http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html

●アンテナ配線の見直し

本製品は付属アンテナによる受信以外にも、ご家庭内にデジタル放送に対応したUHF アンテナがあれば接続が可能です。P12 を参照し、お試しください。

■テレビ視聴時の各種操作

①オートサーチ

「数字の７ボタン」を押すと、受信放送局を読み込ませる「オートサーチ」が行なわれます。

オートサーチはこの他に、メニュー画面内の操作でも行なえます。詳細は前ページをご覧ください。

②チャンネル切替

リモコンの「チャンネル＋／−ボタン」を押すとチャンネルが切り替わります。

※リモコンの数字ボタンを使ったチャンネルの切り替えはできません。

③音量調節

リモコンの「音量＋／−ボタン」を押すと、音量の大小を調節することができます。

④消音

「消音ボタン」を押す毎に消音／出音が切り替わります。

※上記の消音状態の時や本体にイヤホンが接続されている時は、本体スピーカーから音声は出力されません。

⑤字幕・音声切替

字幕放送に対応した番組を受信中にリモコンの「字幕ボタン」を押すと、字幕の有無及び種類が切り替わります。

音声多重放送に対応した番組を視聴中にリモコンの「音声ボタン」を押すと、音声の種類が切り替わります。

※字幕・音声の切り替えは字幕放送、及び音声多重放送に対応した番組を視聴中に限り操作が可能です。

⑥情報の表示

画面上に現在表示させている放送局の番号や、字幕・音声の設定状態等の情報を表示させます。「数字の８ボタン」を押すと画面に表示され「数字の５ボタン」を押すと画面から消えます。

⑦チャンネルリスト

リモコンの「数字の４ボタン」を押すと現在受信中のチャンネルの一覧が表示されます。

チャンネル数が多く一画面で表示しきれない場合には「チャンネル＋／-ボタン」を押すと、別の画面に移ります。

「数字の５ボタン」を押すと、チャンネルリスト画面が閉じます。

チャンネルリスト

1	○○○総合
2	○○○教育
3	○○神奈川
4	○○テレビ
5	○○テレビ
6	○○放送
7	○○放送

⑧番組内容

リモコンの「数字の６ボタン」を押すと、現在受信中の番組の情報が表示されます。

表示される番組数は、放送局によって異なります。表示される番組情報が多数ある場合は複数画面に分割して表示されます。

「チャンネル＋／-ボタン」で画面が切り替わり、別の時間帯の表示に切り替わります。

「数字の５ボタン」を押すと、番組内容画面が閉じます。

番組内容　　４　○○テレビ

12月17日（月） 21：00- 21：30	ニュース番組　今夜の出来事
最新特報／週間天気予報、関東地方の今夜〜明け方までのスポット天気情報／各地のクリスマスイルミネーション・聖なる夜の、とっておきスイーツ＆おすすめワインランキング	

⑨番組リスト

リモコンの「数字の９ボタン」を押すと現在受信中の放送局の番組一覧が表示されます。

表示される番組数は、放送局によって異なります。表示される番組リストが多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。

「チャンネル＋／-ボタン」で画面が切り替わり、別の時間帯の番組リストを表示させることができます。

「数字の５ボタン」を押すと、番組一覧画面が閉じます。

番組リスト　　　　12月17日（月）
４　○○テレビ

21：00-21：30	ニュース番組　今夜の出来事
21：30-22：00	週間占い　WEEKLY TAROT
22：00-22：30	天気予報　WEATHER×2

※上記の⑦⑧⑨は、ワンセグ放送受信中に限り操作が可能です。また、これらの操作は放送波に乗せて必要な情報データをダウンロードします。データ取得には多少時間がかかります。また電波状態の悪い場所ではデータをダウンロードできません。

⑩メニュー画面

テレビを視聴する際の各種設定を行なう「メニュー画面」を表示させせます。
メニュー画面内では、前ページでご紹介したオートサーチやメニュー画面内で使用する表示言語の切り替え、液晶画面の明るさ調節等の各種設定が可能です。

メニュー画面内の操作

…これからご紹介する⑪以降の操作、及び切り替えはメニューボタンを押し表示されるメニュー画面内で行ないます。メニュー画面内の操作では、以下のボタンを使用します。

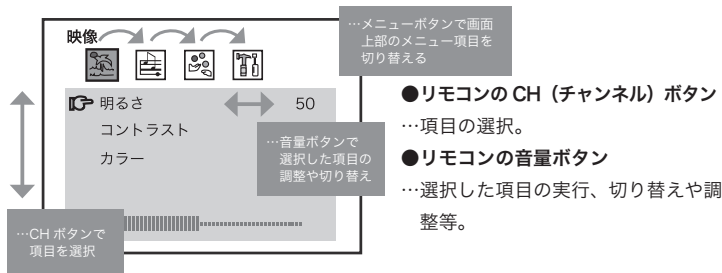
● TV/AV メニューボタン

…メニュー画面の表示と､続けて押すことでメニュー項目（画面上部のアイコン）が切り替わります。

●リモコンの CH（チャンネル）ボタン

…項目の選択。

●リモコンの音量ボタン

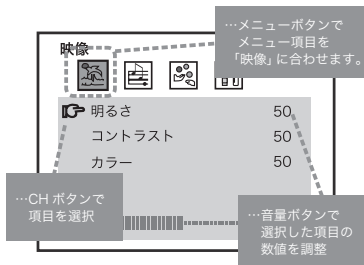
…選択した項目の実行、切り替えや調整等。

[TV モード／ AV 機能モードのメニュー画面の違い]：

…TV 機能モードと AV 機能モードの時のメニュー画面内の操作は、ほぼ同様です。AV モードでは「システムメニュー」内の一部、テレビ視聴に関する設定項目が省かれています。

次ページ以降､メニュー画面内の各種設定の詳細を紹介してあります。

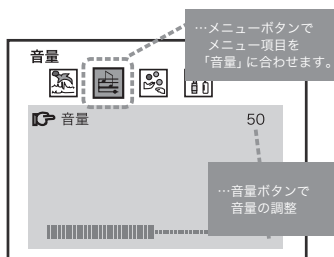
⑪液晶画面の調整

[映像メニュー内の操作]：映像メニューでは、液晶画面の明るさやコントラスト等を調整することができます。TV/AV メニューボタンを 1 回押して「映像」を選択します。この画面内では、次の調節が行なえます。

●明るさ
●コントラスト
●カラー

…CH ボタンで項目を選択後、音量ボタンで調節します。

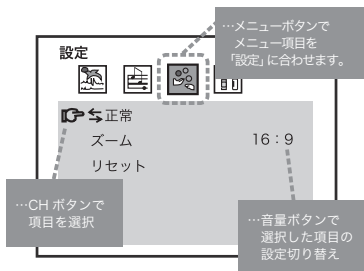
⑫音量の調整

[音量メニュー内の操作]：

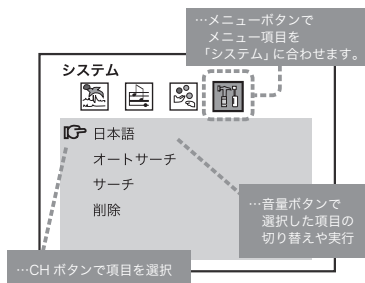
音量メニュー内ではリモコンボタンによる調節と連動した音量調節機能が設けてあります。TV/AV メニューボタンを 2 回押して「音量」を選択します。音量ボタンを押すと、音量の大小を調節することができます。

⑬画面への映像表示方法

[設定メニュー内の操作]：設定メニュー内では液晶画面に表示する映像の向きや比率が設定可能です。TV/AV メニューボタンを 3 回押して「設定」項目を選択します。

●正常（画面の反転機能）：表示が反転します。画面が反転している最中は「正常」の表示が「反転」に変わります。
●ズーム：映像の縦横比率[16:9→4:3]を変更します。
●リセット：TV メニュー画面内の項目が出荷時の状態に戻ります。

CH ボタンで項目を選択後、音量ボタンで各種切り替えを行ないます。

[注意]：「ズーム」操作の映像縦横比率と「反転」について
受信番組の収録内容によってはここでの操作が反映されない場合もあります。また、誤って画面を反転させた場合は「反転」を選択して「正常」の表示に変わるまで音量ボタンを押してください。

システムメニュー内の操作

[システムメニュー内の操作]：システムメニュー内では表示言語の切り替えや、テレビ放送の受信に関する設定を行ないます。TV/AVメニューボタンを４回押して「システム」を選択します。CHボタンで項目選択後に音量ボタンで切り替え、もしくは操作を実行します。

[TV・AV機能モードのメニュー画面の違い]：TVモードの時とAVモードの時に表示されるメニュー画面はほぼ同様ですがシステムメニュー「オートサーチ／サーチ／削除」のテレビ受信に関する設定がAVモードの時には表示されません。

⑭メニュー画面の使用言語

CHボタンで「日本語」と表示されている項目を選択後に音量ボタンを押すと、画面表示言語が切り替わります。

※本書は「日本語」が選択されている状態を想定して作られています。他言語に対応する説明書のご用意はありません。

⑮オートサーチ

CHボタンで「オートサーチ」を選択後に音量ボタンを押すとオートサーチが開始します。

※オートサーチは本製品を初めてお使い頂く際に必ず行なう設定です。
※地域が変更した場合や、新しい放送が開始された場合等にも改めてオートサーチをする必要があります。

⑯サーチ

受信中チャンネルの周波数近辺で受信可能なチャンネルを探します。オートサーチで登録されていないチャンネルも対象とします。CHボタンで項目「サーチ」を選択後に音量ボタンを押すと、受信可能な放送電波の検索を開始します。

⑰削除

読み込んだチャンネル番号の記憶を全て削除します。CHボタンで項目「削除」を選択後に音量ボタンを押すと、読み込んだチャンネルの記憶が削除されます。

[注意]：項目「削除」を行なうと、オートサーチで読み込んだチャンネル情報が全て削除されます。テレビを見るためには、再びオートサーチを行なってください。

4 AVモード、外部機器接続時の操作

本機の側面にある「AV 入・出力」端子に外部機器をつないだ場合の使い方をご紹介します。機器の接続は 2 章をご覧ください。

（手順 1）…電源を入れる

…本体側面の「主電源スイッチ」を ON にすると液晶画面が立ち上がります。

起動画面

【注意】：主電源を ON にしても起動できない時は接続やバッテリー充電についてご確認ください。

…起動後に入力、出力各々の操作に進んでください。

（手順 2-A）：本製品から出力する場合

テレビに接続し、本製品で再生している映像を外部出力する場合の操作です。本体の「機能切替ボタン」を押して機能モードを「DVD」に切り替えて DVD を再生させると接続テレビに本機で再生している映像が外部に出力されます。

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ 1 等）に切り替える必要があります。
※ DVD 機能モード、及びメディア再生モードに限り外部機器への出力が可能です。
※プレーヤー本体音量と外部出力時の音量は連動します。

B：本製品に入力する場合

再生機器を接続して外部で再生している映像を本製品の液晶モニタに映し出す場合の操作です。本体の「機能切替ボタン」を押して機能モードを「AV」に切り替えると、外部機器で再生している映像が本機のディスプレイに表示されます。

5 DVD・CD及び各種メディアの再生

電源を入れる

電源を ON にする前に必ずピックアップ保護カバーを取り外してください。
装着したまま電源を入れると内部機器が破損してしまいます。
本体側面の主電源スイッチを「ON」にすると液晶画面が起動します。

機能モードを切り替える

機能切替ボタンを押す毎に〈DVD モード／ TV モード／ AV モード〉が切り替わり、現在選択されている機能モードが画面右上に表示されます。
各種メディアの再生を行なう場合は、ここで DVD モードを選択してください。

① DVD を再生する

〈再生ディスクに関する注意〉

※ディスクトレイ内部に CD や DVD 以外のものを入れないでください。
※本製品は「リージョン 2」に対応しています。
2 以外のディスクの再生はできません。

※ DVD-RAM は再生できません。DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクはファイナライズを行っていないと再生できません。
また、作成ディスクについては全てのディスクの再生は保証できません。作成ディスクは再生中の一部操作が機能しない場合もあります。
※ VR モード・CPRM 規格等のデジタル放送を録画したディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。

…上記をご確認頂いた上で、以降 DVD 再生中の操作についてご紹介します。

DVD をセットする

　DVD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンを押し、ディスクトレイを開きます。ディスクを 1 枚レーベル面を上にしてセットしてください。
　ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じるとディスクの再生が始まります。

●タイトルメニューの表示
　複数のタイトルを収録した DVD では読み込むと、まず DVD タイトルメニューが表示されます。メニュー画面内では方向ボタンで項目を選択し、決定ボタンで確定すると再生が始まります。再生中にメニューまたはタイトルボタンを押すと、DVD タイトルメニューにジャンプします。

参考：DVD ソフトのタイトルメニュー画面の例

※ DVD によってはメニュー・タイトルボタンを押しても機能しない場合があります。

●再生と一時停止
ディスクの再生中、再生ボタンを押すと一時的に再生を停止します。もう一度再生ボタン押すと一時停止は解除され、続きから再生が始まります。

●音量調節と消音
音量調節は音量＋／–ボタンで行ないます。リモコンの消音ボタンを押す毎に、消音／出音が切り替わります。

※消音時とイヤホン挿入時は、本体のスピーカーから音声は出力されません。

●停止
再生中に停止ボタンを一度押すと再生位置を記憶したまま停止します。この状態で再生ボタンを押すと、停止した場面から再開します。再生中に停止ボタンを 2 回押すと再生位置の記憶は消え、次回再生をした時はディスクの一番最初から読み込みます。

※プレーヤー本体に停止ボタンはありません。
停止操作にはリモコンボタンを使用してください。

●頭出し

再生中にスキップボタンを押すと、次もしくは前のチャプターを頭出しします。

●スロー再生

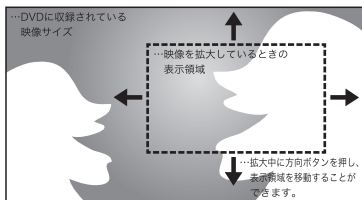
遅い速度で再生します。スローボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。

●早送り／巻き戻し

再生中に早送り／巻戻しボタンを押す毎に、再生速度が切り替わります。

※スロー・早送り・巻き戻し再生中は音声出力されません。

●拡大と縮小

再生中の映像を拡大・縮小します。ズームボタンを押す毎に、映像の拡大・縮小倍率が切り替わります。また、映像拡大中に上下左右方向ボタンを押すと、拡大表示領域を移動することができます。

●リピート

再生中のチャプターやタイトルを繰り返し再生します。リピートボタンを押す毎に、繰り返し方が次のように切り替わります。

〈 チャプタを繰り返し→タイトルを繰り返し→全てを繰り返し→繰り返し解除 〉

※リピートの仕様は再生するディスクの収録内容によって差があります。

●指定場面の再生／サーチ

再生中に指定のチャプターや時間にジャンプします。サーチボタンを押す毎にサーチ画面の表示と非表示が切り替わります。方向ボタンで指定したいチャプター／時間項目を選んだ後に数字ボタンを使って入力します。

●プログラム再生

タイトル／チャプターを指定したプログラムを作成し、任意の順序で再生します。プログラムボタンを押す毎に、プログラム画面の表示／非表示が切り替わります。T 列にタイトルを、C 列にチャプターを数字ボタンを使って入力します。プログラムは 16 番目まで指定することができます。

プログラムを作成したら画面下段の「再生」を選択して決定ボタンを押すと、プログラム再生が開始されます。プログラムを削除するにはプログラム画面を表示させて「クリア」を選択し、決定ボタンを押します。

※T:タイトルを入力／C:チャプターを入力

T C	T C	T C	T C
1--:--	5--:--	9--:--	13--:--
2--:--	6--:--	10--:--	14--:--
3--:--	7--:--	11--:--	15--:--
4--:--	8--:--	12--:--	16--:--
		再生	クリア

※ VR モード・CPRM ディスクでは正しく機能しません。

●アングルの切り替え

場面により複数のアングルが収録されている DVD では、画面にアングル切り替えが可能なことを示すマークが表示されます。このとき、アングルボタンを押す毎に映像アングルを切り替えることができます。

※複数のアングルが収録されていない DVD ではアングル切替はできません。

●字幕言語の切り替え

…字幕が収録されている DVD の再生中は字幕ボタンを押す毎に字幕の言語、及び表示の有無を切り替えることができます。

●音声言語の切り替え

…複数の音声が収録されている DVD の再生中は、音声ボタンを押す毎に音声言語を切り替えることができます。

※字幕・音声言語は次の方法で切り替えができます。
❶本機のリモコンの字幕、もしくは音声ボタンによる切り替え。
❷本機のセットアップボタンで表示される、設定画面内での切り替え。
❸再生中 DVD ソフトの、タイトルメニュー画面内での切り替え。
…DVD によっては、上記いずれかの方法が使用できない場合もあります。

② CD を再生する

音楽 CD や、データ CD を再生します。本体のディスクトレイオープンボタンを押し、ディスクトレイを開きます。ディスクをセットし、ディスクトレイの蓋を閉じると再生が始まります。

③USB及び各種メディアの再生

USB、MMC スロットに挿入したデータを再生します。再生できるファイルは、音声ファイル／画像ファイル／動画ファイルです。各種メディアを接続した後、次ページに紹介する方法で再生してください。

各種メディア再生の注意

● PC やレコーダーを使い、ご自身で作成したメディアは互換性により再生できないものもあります。画像、音声や映像ファイルは応用範囲も多岐に渡り、規格内容も複雑です。ファイル形式や圧縮コーデックのバージョンにより、正しく再生できない場合があります。再生前に録画機器でファイナライズ処理を行なってください。
●英数字のファイル名のみに対応しています。日本語や長過ぎるファイル名は文字化けします。
●一部の音楽 CD に採用されている著作権保護を目的としたコピーコントロール CD は再生できない場合があります。
●メディアカードや USB ストレージの読み出しスピードが遅いため動画の再生がもたつく場合があります。
●大きいサイズのデータや大容量メディアを再生させる時は読み込むまで時間がかかる、もしくは認識できない場合もあります。
●地上デジタル放送を録画した VR モード・CPRM 規格のディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
●ファイル名の先頭に「 . 」の付いた不可視ファイルが存在すると正常に読み込めません。PC で削除してから読み込ませてください。
●複数メディアを同時に挿入すると誤動作を起こす場合があります。再生させるメディア以外は取り外してお使いください。

各種メディアの再生手順

…CD、USB や MMC の各種メディアの再生は、次の手順で行なってください。

機能モードの切替

CD や各種メディアの再生をするときは「機能切替ボタン」を押して、機能モードを DVD モードにします。

CD や DVD の場合はこの状態でディスクを挿入すると、読み込み始めます。

読み込みモードの切替

基本的には挿入したメディアが自動的に読み込まれます。自動で始まらない場合は以下手順で読み込みメディアを指定してください。「DISC/CARD/USB ボタン」を押すと " 読み込みメディア選択画面 " が表示されます。上下方向ボタンで読み込ませたいメディアを選択して決定ボタンを 2 回押すと、選択メディアを読み込みます。

…DVD モードが選択されているとき の画面表示

…読み込みモードの切り替え画面

再生画面内の操作

上記の各種切り替えが終わり、メディアをセットすると下の再生画面が表示されます。

フォルダリスト
再生中のファイル
ファイルリスト
[MUSIC-A] MUSIC-A_01.mp3
01. MUSIC-A
02. MUSIC-B
03. MUSIC-C
01. MUSIC-A_01
02. MUSIC-A_02
03. MUSIC-A_03
04. MUSIC-A_04
05. MUSIC-A_05
音声　画像　動画

[メディア再生画面内の操作]：

…図中左側のリストはフォルダリストです。フォルダを選択して決定ボタンを押すと、フォルダの中に入っているファイルが右側のファイルリストに一覧表示されます。

…ファイルリストから再生したいファイルを方向ボタンで選択し、決定ボタンで再生します。停止ボタンを押すと再生が止まります。

…フォルダリスト選択中に左ボタン、またはファイルリストを選択中に右方向ボタンを押すと選択枠が下の３つのアイコンに移動し、再生ファイルの種類を選択できます。アイコンは左から順に音声、画像、動画を表します。

6 DVDモードの各種設定

■設定画面内の操作

…セットアップボタンを押すと下図に示すセットアップ画面が開きます。

[手順 1]：方向ボタンの左右で最上段のカテゴリアイコンを選択をします。設定したいカテゴリを選び、方向ボタンの下を押して各種設定項目に移動します。

[手順 2]：上下方向ボタンで設定したい項目を選択して決定ボタンを押すと、切り替え項目が画面右側に表示されます。

[手順 3]：上下方向ボタンで選択して決定ボタンを押すと設定が切り替わります。

■設定可能なカテゴリ

①システム設定

…本体システム関連の設定

②言語設定

…言語・字幕表示の設定

③オーディオ設定

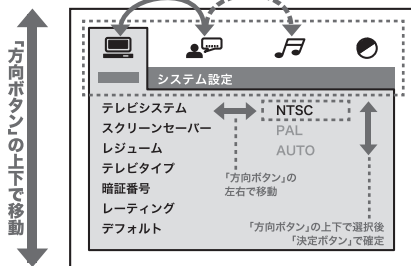
…音声関連の設定

④映像出力

…映像関連の設定

セットアップ画面表示中にリモコンのセットアップボタンを押すと、画面が閉じられます。

「方向ボタン」の左右で移動

最上段にあるアイコンから、設定したいカテゴリーを「方向ボタン」の左右で選択後「方向ボタン」の下を押して下段の各種設定項目に進んでください。
（下図では一番左のシステム設定が選ばれています）

①システム設定

　レジューム機能や視聴制限、出荷時の設定に戻す等の本体システムに関する設定が行なえます。

■テレビシステム

　国別で採用されているテレビシステムをNTSC ／ PAL ／オートから選択します。

※接続する外部機器に合わせて設定します。日本国内で採用されているテレビシステムはNTSCです。通常はNTSCを選択してください。

■スクリーンセーバー

　オンに設定すると停止状態のまま一定時間経過した時にスクリーンセーバーが作動します。

※スクリーンセーバー表示中にボタン操作を行なうと画面が復帰します。

■レジューム

　オンに設定するとDVD再生途中で電源を切った場合、次回再生をさせた時に前回停止した場面の続きから始まります。

■デフォルト

　デフォルト→復元を選択して決定ボタンを押すと、本セットアップ画面で切り替えていた設定を工場出荷時の状態に戻します。

■テレビタイプ

16:9の映像比率で収録されたDVDを4:3比率のテレビ画面に出力する時の表示方法を切り替えます。

(4:3PS) 16:9比率の映像の左右を隠し、拡大して表示させます。

(4：3LB) 比率はそのままに全体を縮小して上下の余白に黒い帯を表示させます。

(16：9) 16：9比率の映像を4：3比率の画面内に伸縮して表示させます。

※ DVDソフトによっては、いずれかに対応しないことがあります。

■暗証番号

　暗証番号を打ち込んでペアレンタルロックを解除します。「レーティング（視聴制限）」を切り替える際、事前にロックを解除する必要があります。暗証番号は「0000」です。数字を打ち込んで決定ボタンを押す毎に、ロック／ロック解除が切り替わります。

■レーティング

　視聴年齢制限の設定を行います。数字が小さいほど、年齢制限が厳しくなります。設定された年齢制限を超えたDVDは再生できません。また、ここで設定を切り替える時には暗証番号を入力してロックを解除する必要があります（前項目の「暗証番号」を参照）。

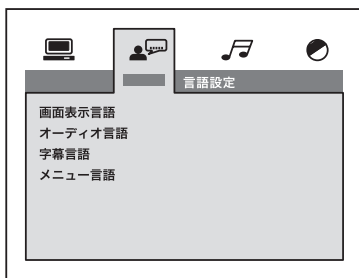
1 KID SAFE …幼児がご覧になっても問題ありません。
2 G …お子様がご覧になっても問題ありません。
3 PG …お子様にとって不適切なシーンがあります。
4 PG13 …13 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
5 PG-R …17 歳以下の方にとって不適切なシーンがあります。
6 R …17 歳未満の方は保護者の同伴がないとご覧になれません。
7 NC-17 …17 歳未満の方はご覧になれません。
8 ADULT …18 歳以下の方はご覧になれません。

※ここで年齢制限を行ってもDVDの作成状態によっては無効になる場合があります。

②言語設定

字幕やオーディオ言語、本セットアップ画面の表示言語等を切り替えます。

■画面表示言語

本セットアップ画面で表示させる言語を日本語もしくは英語から選択します。

※本取扱説明書は、ここで「日本語」が選択されている状態を想定して作成されています。英語版取扱説明書のご用意はありません。予めご了承ください。

■オーディオ言語

DVD 再生時の音声言語を選択します。
次の中から選択してください。

・中国語　・英語
・日本語　・スペイン語
・フランス語

■字幕言語

DVD 再生時の字幕言語を選択します。
次の中から選択してください。

■メニュー言語

DVD ソフトのメニュー画面使用言語を選択します。次の中から選択してください。

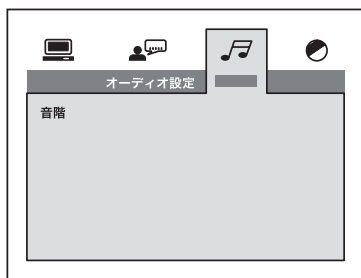
[補足]：オーディオ・字幕言語については本製品のリモコンボタンでも切り替えが可能です。DVD ソフトによっては本製品での切り替えが無効になる場合があります。その場合は、DVD ソフトのメニュー画面から切り替えを行なってください。

③オーディオ設定

オーディオ関連の設定が行なえます。

■音階

音声出力の音階を調節します。音階を変えない場合は0、高くしたい場合は上、低くしたい場合は下方向に目盛りを設定してください。

オーディオ設定
音階

④映像出力

画面表示に関する調節が行なえます。

各々項目選択後に決定ボタンを押すと、目盛りが表示されます。

上下方向ボタンで調整後、決定ボタンで確定してください。

7 故障かな？と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

巻頭に記載の注意書き、および本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

機能全般

本体が起動しない

●本体側面の主電源スイッチがONになっているかを確認してください。電源ランプが

点灯していなければ配線を確認してください。

●お買い上げ頂いた時点でバッテリーの電池残量は充分ではありません。ご使用前に充電する必要があります。また、使用によりバッテリー残量が著しく低下している時は電源アダプタをつないでも途中で電源が落ちてしまったり、動作が不安定になったりします。この場合は一旦使用を中断し、充電を完了させてからご使用ください。

バッテリーの駆動時間が短い

●ご購入後、はじめてご使用になる場合は充電をしてください。

●バッテリー駆動時間は、使用状況により差が出ます。必ずしも、本書に記載している通りの時間とは限りません。また、バッテリーは使用を重ねるごとに劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

音声や映像が途切れる

●バッテリー駆動時は電池残量が少なくなると音声や映像が適切に出力されない場合があります。電源アダプタを本体に接続し正常に出力される場合は充電してください。

表示が外国語になっている

●セットアップもしくはメニュー画面内で表示言語の切り替えが可能です。DVDモードでは「セットアップボタン」を押して表示されるセットアップ画面内で、その他モードは「TV/AV メニューボタン」を押して表示されるメニュー画面で操作してください。

リモコンが効かない

●プレーヤー本体の主電源スイッチは ON になっていますか？

●電池は正しくセットされていますか？

●出荷時の状態で電池トレイの底面に透明の絶縁フィルムが挟み込まれています。取り外してからお使いください。また、付属のリモコン用電池は動作確認用です。このためすぐにバッテリー切れになる場合がありますので通常ご使用になる分は別途ご用意ください。使用する電池はボタン型リチウム電池（CR2025）です。

●リモコン操作は本体のリモコン受光部に向けて行なってください。プレーヤーとリモコンの距離が離れている、もしくは間に障害物がある場合はリモコン操作が効きません。

映像は出るが音声が出ない

●次の時本体スピーカーから音声は出力されません。音量が０の時／消音ボタンが押されている時／イヤホンを接続している時。

●早送り／巻戻し、スロー、コマ送り、一時停止中は音声が出ません。

画面が反転している

●映像反転する機能が備わっています。TV/AV メニューボタンを押し、表示される画面から操作してください。

再生機器等を接続し、本製品に入力をしている場合の不具合

●外部機器の接続部は、適切な出力端子に繋がれていますか？

●本体の機能モードは AV モードになっていますか？　リモコンの機能切替ボタンを押して AV モードになっているかを確認してください。

テレビと接続し、本製品から出力をしている場合

●テレビ側の接続部は、適切な入力端子に繋がれていますか？　また、テレビの入力切り替えは行なわれていますか？
例：ビデオ 1・2、外部入力等。詳細は接続機器の取扱説明書をご覧ください。

●本体の音量がゼロになっていると、接続機器から音声は出力されません。

●異なるテレビシステムでは映像を正しく出力できません。テレビシステムは地域毎に異なり、日本では NTSC 方式を採用しています。通常は NTSC を選択してください。

● AV 出力が可能なのは DVD モードで再生中のものに限られます。

テレビ視聴時

[オートサーチについて]：P18

…ご購入後初めてテレビをお使いになる時はオートサーチをしてください。オートサーチは使用地域で受信可能な放送局を読み込ませる操作でテレビを視聴するために必ず行なう設定です。オートサーチは初めて使用する時以外に移動や引っ越しで視聴地域が変更した場合や使用地域で新しい放送が開始された場合にも再度設定する必要があります。

音声や映像が途切れる

●周囲に建物がある等で電波受信状況が悪いとこのような状態になります。受信が不安定な場合は、受信しやすい場所に移動するかアンテナの位置や向きを調節してください。

●本体をバッテリー駆動で使用している場合はバッテリー残量が少ないことが考えられます。前ページの「機能全般」をご確認頂き、必要に応じて充電をしてください。

音声も映像も出ない

●本体機能を TV に切り替えて「オートサーチ」は行いましたか？

●受信中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。

●電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナを窓際の受信しやすい場所に設置してください。付属アンテナは携帯性を重視した設計になっております。もしもご家庭内にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合はそちらに接続してください(先端が F 型端子のアンテナケーブルが別途必要です)。

ボタン操作が効かない

●電源投入後や機能モード切り替え後、チャンネルの切り替え直後、および電波状態の悪い場所での視聴中は重い処理を行っているため、反応時間がかかることがあります。この状態で繰り返しボタンを操作すると後で全ての操作が反映されて思わぬ動作を起こすことがあります。反応を確認しながら操作してください。

番組を受信できない

●お住まいの地域でワンセグ放送が開始されているかをご確認ください。
●本体の位置は電波を受信しやすい場所に設置されていますか？
●オートサーチは完了しましたか？

チャンネルと番組が一致しない

●オートサーチを行った地域から移動していませんか？　チャンネル編成は地域ごとに異なるため、地域が変わったら再度オートサーチを行ってください。

希望のチャンネルに合わせられない

●「オートサーチ」の方法は正しいですか？
●受信状況が悪い場合は、希望のチャンネルを受信できない場合があります。

チャンネルの切り替えが遅い

●ワンセグを含むデジタル放送は受け取ったデジタル信号を音声や映像に展開するため、若干時間がかかります。
●受信状態が悪い場合は更に時間がかかります。室内であれば窓際等に本体もしくはアンテナを移動してください。

●ワンセグ放送の受信について

　現在、全国の主要な地域ではデジタル放送が開始されていますが、地域の状況により放送エリア内であっても受信できない場合があります。

　受信障害の主な原因として、次のことが考えられます。

・お使いの地域の周辺に高層ビルや山等があり、放送局からの電波を遮断している
・住宅密集地域や集合住宅で電波状況が芳しくない
・高圧送電線による電波障害の影響がでている
・電波中継局の設置などのインフラ整備が整っていない

　また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には性能差があります。特に携帯電話は、屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、チューナーにブースターを搭載するなど設計・受信方式が根本的に違います。携帯電話でワンセグ放送が受信できても、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

●ワンセグ放送受信エリアに関する、インターネット上の参考 URL

・社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
　http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/
・総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
　http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/index.html

●アンテナ配線の見直し

本製品は付属アンテナの他にも、F 型端子のアンテナケーブルであれば接続が可能です。ご家庭にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合には、そちらに接続してください（先端が F 型端子のアンテナケーブルが別途必要です）。

TV/AV メニュー画面

● TV/AV メニュー画面上の操作はプレーヤー本体とリモコンとでは異なります。リモコンボタンの場合は CH ボタンで項目の選択、音量ボタンで選択項目の調整や切り替えを行ないます。
プレーヤー本体ボタンの場合は方向ボタンの上下で項目の選択、左右で選択項目の調整や切り替えを行ないます。

DVD、各種メディアの再生時

リモコンが効かない

● DVD の場面によってはボタン操作が制限されている場合があります。
●リモコンについての確認内容は本章中の前項目「機能全般」にまとめてありますので、ご参照ください。

[リモコンの字幕・音声ボタンを押しても言語が変更できない]

● DVD の仕様によってはディスクメニューでのみ切り替えが可能です。
●複数の音声や字幕を収録していない DVD は変更ができません。

音声が出ない

●巻戻し／早送り／スロー／一時停止／コマ送りの状態になっていませんか？

音が高い／低い

●音が異常に高く、もしくは低く聞こえる場合はセットアップ画面内の「音階」設定項目が 0 でないことが考えられます。

画面が勝手に暗くなる

●セットアップ画面内でスクリーンセーバーを「オン」にしている時はディスク停止状態で一定時間操作がないと、黒い背景のスクリーンセーバー画面が起動します。復帰させる時はリモコン操作をしてください。

再生できない

●ピックアップカバーは取り外しましたか？
●ディスクに汚れや破損はありませんか？
●光学ヘッド（ディスクを読み取るレンズ）が汚れていませんか？
●ディスクが裏面になっていませんか？
レーベル面を上にして、ディスクをセットしてください。
● DVD レコーダーやパソコンで作成したディスクを使用する場合、互換性によって再生できない場合があります。日本国内でレンタルまたは販売されている DVD が再生できるかを確認してください。また、ファイナライズを行っていないディスクは再生できません。

● DVD-RAM はサポートしておりません。
●温度差によって結露が生じている場合があります。数時間温度になじませてから再生を試みてください。
●再生可能な DVD のリージョンコードは 2 です。その他のリージョンコードを持つ DVD は再生できません。

[デジタル放送を録画したディスク]：
●デジタル放送を録画した VR モード・CPRM ディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。

[コピーコントロール CD（CCCD)]：
●一部の音楽 CD で著作権保護のために用いられている CCCD は、正式な CD 規格に準拠していない特殊なディスクです。再生については読み込めない、または正常に再生されない場合があり、すべての CCCD の再生は保証できません。
[USB デバイスが再生できない]：
●フォーマットが MS-DOS（FAT）形式に対応しており、それ以外のフォーマットは読み込みできません。
●バスパワーで動作する USB 機器の場合、電力が足りずに動作できない場合があります。
●ドライバが必要な USB デバイスは使用できません。
● USB ストレージ、またはメモリーカードの読み込み速度が遅いため、再生に追いついていないことが考えられます。また、大きいサイズのデータや、大容量メディアを再生させる時は読み込むまでに時間がかかる、もしくは認識できない場合もあります。
●複数のメディアを同時に挿入すると、誤作動を起こす場合があります。再生中のメディア以外は取り外してお使いください。

【ファイル名に関する補足】：
●半角英数字の表示に対応しています。日本語や特殊記号等のファイル名は文字化けや認識エラーも生じます。
●挿入メディアに不可視ファイルが存在すると認識不具合が生じます。PC 上で削除してから本機に挿入してください（例：ファイル名の先頭に「 . 」のついたものや、薄いグレーで表示されるファイル)。

【ファイルの診断】：
●挿入メディアとその中身のファイルは PC にて定期的に診断やウィルスチェックを行なってください。破損したデータの入ったメディア及びウィルス感染したメディアは読み込めなくなるだけでなく、本機や接続 PC の不具合を招きますのでご注意ください。

製品仕様／お問い合わせ

製品型番	DS-PP70EC307BK/MG/WH
本体色	BK：ブラック、MG：マゼンタ、WH：ホワイト
液晶パネル	7インチ 480×234pixel、輝度=300cd/m²、コントラスト比=300：1、視野角=左右60°上50°下60°、表示色数=1,677万色、応答速度=30ms、バックライト寿命の目安≦20,000時間
TVチューナー	ISDB-T 1Segment　UHF 13～62ch ＊ワンセグ以外の放送は受信できません
DVDプレーヤー	周波数特性： DVD（PCM48KHz再生時）= 4Hz-22KHz（±1dB） DVD（PCM96KHz再生時）= 4Hz-44KHz（±1dB） CD：31.5Hz～16KHz（±3dB）
再生メディア	DVD、DVD-R/RW、CD、CD-R/RW、USB、MMC
再生可能ファイル	画像ファイル….jpg 音声ファイル….mp3 映像ファイル….avi / .mpg （映像コーデック）：mpeg1/mpeg2　（音声コーデック）：mp2/mp3 [注意：コーデックやファイル形式の組み合わせによって再生できないものもあります]
S/N比	≧85dB
入出力端子	電源入力、アンテナ入力、USB、MMC、AV入出力、イヤホン出力（3.5φ）
スピーカー	2W×2
本体サイズ	210×163×45mm（横幅×奥行×厚さ）、内蔵バッテリー含む：770g
電源	家庭用AC100V-240V、AC電源アダプタ：9.5V、1.5A
消費電力	10W／待機時1.5W
内蔵バッテリー	リチウムイオンバッテリー　電圧：7.4V、容量1,500mAh
	充電時間…約130分、 動作時間…DVD機能モード：約105分、TV機能モード：180分 [記載の時間は目安であり、使用状況により差があります]
動作環境	温度：5～35℃
製造国	中国

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。

製造元

株式会社 ゾックス

〒231-0033　神奈川県横浜市中区長者町3-8-13　TK関内プラザ304

TEL：0120-602-302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金曜日の10時～17時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。